



メッセージ エージング ポリシー

この章は、次の項で構成されています。

- [メッセージ エージングの機能 \(P.14-1\)](#)
- [メッセージ エージング ポリシーの変更 \(P.14-2\)](#)

メッセージ エージングの機能

Cisco Unity Connection では、ボイス メッセージを格納するハードディスクがいっぱいにならないように、メッセージ エージング規則を設定して次の処理を自動的に実行できます。

- 既読メッセージを、指定した日数が経過した後に [削除済みアイテム] フォルダに移動する。この規則は、デフォルトでは無効になっています。
- [削除済みアイテム] フォルダにあるメッセージを、指定した日数が経過した後に完全に削除する。この規則は、デフォルトで有効になっています。

これらのメッセージ エージング規則は、個別に有効または無効にできます。また、各規則にそれぞれの日数を指定することができます。メッセージ エージング ポリシーを有効または無効にすることもできます。ポリシーを無効にすると、規則は規則自体の設定にかかわらず適用されなくなります。

メッセージ エージング ポリシーを有効にし、いずれかまたは両方のメッセージ エージング規則を有効にした場合も、[Voice Mailbox] ページで個々のユーザのメッセージ エージングを無効にすることができます。ただし、この逆の設定はできません。メッセージ エージング ポリシーを無効にした場合は、個々のユーザのメッセージ エージング規則を有効にすることはできません。

メッセージは、最後に変更を加えられた時点からエージングが開始されます。メッセージに変更を加えるには、ユーザは次のいずれかの手順を実行する必要があります。

- Cisco Unity Inbox で、メッセージに新規または削除済みのマークを付けるか、メッセージの題名を変更して、[保存] をクリックする。
- 電話でアクセスしているときに、メッセージに新規のマークを付ける、メッセージを再保存する、メッセージを削除する、削除済みメッセージを開封済みに戻す、のいずれかのオプションを選択する。

これらのいずれのオプションも選択せずに、単にメッセージを聞いた場合には、メッセージは変更されません。

メッセージエージングポリシーの変更

メッセージエージングポリシーを変更する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[System Settings] を展開し、[Message Aging Policy] をクリックします。
- ステップ 2** 設定を適切に変更します。個々のフィールドについては、フィールドヘルプを参照してください。
- ステップ 3** [Save] をクリックします。
-

個々のユーザのメッセージエージングポリシーを有効または無効にする

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[Users] をクリックします。
- ステップ 2** [Search Users] ページの [Search Results] テーブルで、対象となるユーザのエイリアスをクリックします。



(注) ユーザのエイリアスが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドに必要なパラメータを設定して、[Find] をクリックします。

- ステップ 3** [Edit User Basics] ページで、[Edit] メニューの [Voice Mailbox] をクリックします。
- ステップ 4** 適用する内容に応じて、[Enable Message Aging Policy] チェックボックスをオンまたはオフにします。
- ステップ 5** [Save] をクリックします。
-